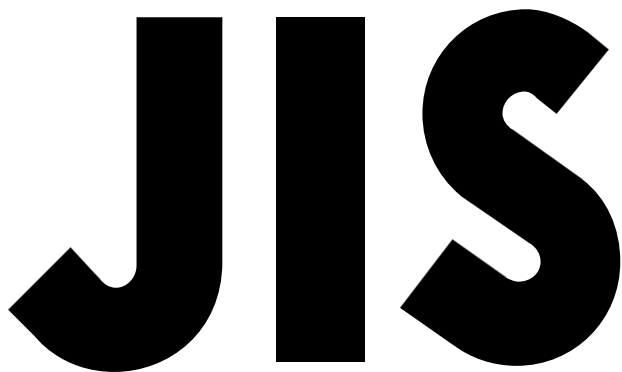




合成高分子系ルーフィングシート

JIS A 6008 : 2022

(KRK/JSA)

令和 4 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	植 木 暁 司	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会（早稲田大学）
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会（三井ホーム株式会社）
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	福 田 孝 晴	一般社団法人日本建設業連合会（鹿島建設株式会社）
	藤 野 珠 枝	主婦連合会（藤野アトリエ一級建築士事務所）
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	吉 田 可保里	T&T パートナース法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 44.10.1 改正：令和 4.3.22

官 報 掲 載 日：令和 4.3.22

原 案 作 成 者：合成高分子ルーフィング工業会

（〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町 9-2 日新中央ビル TEL 03-6206-2928）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017）

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：建築技術専門委員会（委員長 清家 剛）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
5 品質	3
6 寸法及び単位面積質量	4
7 外観	5
8 試験	5
8.1 試験の一般条件	5
8.2 寸法の測定	5
8.3 試験片の作製	6
8.4 単位面積質量	9
8.5 引張性能	10
8.6 引裂性能	11
8.7 温度依存性	13
8.8 加熱伸縮性状	14
8.9 劣化処理後の引張性能	14
8.10 伸び時の劣化性状	15
8.11 接合性状	16
8.12 接合引張性能	18
9 検査	19
9.1 検査の種類及び検査項目	19
9.2 判定基準	20
10 表示	20
11 取扱い上の注意事項	21
附属書 A（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	22
解 説	23

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、合成高分子ルーフィング工業会（K RK）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 6008:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 5 年 3 月 21 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 6008:2006** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

合成高分子系ルーフィングシート

Roofing sheets of synthetic polymer

1 適用範囲

この規格は、主として各種建築物の防水に用いる合成高分子を主原料としたルーフィングシート（以下、均質シートという。）及びそれに基布その他を複合したルーフィングシート（以下、複合シートという。）について規定する。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を、**附属書 A** に示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1415 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

JIS K 6250 ゴム－物理試験方法通則

JIS K 6251 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方

JIS K 6252-1 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引裂強さの求め方－第 1 部：トラウザ形、アングル形及びクレセント形試験片を用いる方法

JIS K 6257 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－熱老化特性の求め方

JIS K 8575 水酸化カルシウム（試薬）

JIS K 8617 炭酸カルシウム（試薬）

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

ルーフィングシート

防水層を形成するために用いるシート状の材料

3.2

均質シート

合成高分子を主原料としたルーフィングシート